

令和8年度 荒川区地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会
第1回 観光プロモーションに関する分科会
議事要旨

(1) 概要

開催日時	令和8年6月3日(水) 午後3時30分から5時まで
開催場所	荒川区役所北庁舎 101 会議室
出席者 (敬称略)	(協議会委員) 分科会長 丸山 慎二郎 委 員 田中 類 委 員 細谷 誠 委 員 山田 章博(オンライン参加) (区側出席者) 産業経済部長 三枝 直樹 産業振興課長 山下 英男 経営支援課長 中野 大志 観光振興課長 渡部 雅人 荒川遊園課長 遠藤 伸記 政策企画部 広報・シティプロモーション課長 鈴木 利枝子
配付資料	● 提案事業のロードマップ案(R8.6月時点) ● 3事業(アラカワカルチャー、荒川遊園夜市、アラカワリンクス)について ● 予算化された2事業について

(2) 議事

議題	提案事業のロードマップ案(R8.6月時点) および意見とりまとめについて
議事内容	
1. 最初に、観光振興課長より、昨年提案のあった10の事業のうち、予算化されていないもののうちの3つを優先的に対応することとした場合のロードマップを提示した。 2. 意見交換(各委員の主な発言) ○委員 ● 今年一年(分科会で)何をするか、という点について、記載のロードマップ(工程表)と別の項目があったと思う。大きな取組として、実行委員会を設立するなどのアウトプット(具体的な成果)を出すなどの話があったと思う。 ● 関連する(部署)が多いこともあり、(組織に)横串を刺すというのは簡単な話ではないが、観光はかかわってくるところ。	

議題	3 事業（アラカワカルチャー、荒川遊園夜市、アラカワリンクス）について
議事内容	
1. アラカワカルチャーについて、委員から令和 8 年度に実施する「アラカワカルチャースクール」の概要の説明があった。要点は以下の通り ● 実行委員会を設立し、横串を刺していける事業を実施したいと考えており、令和 8 年度の事業はそのプロトタイプ（試行）という位置づけであると考えている。観光振興・教育委員会・防災・地域経済・広報・PTA・地元企業等が「横串」でつながるような仕掛けを、テストとしてやっていければと思う。 ● 子どもたちを対象としたシビックプライド（地元への愛着心）醸成、というテーマではあるが、そこに固執せず、子どもに限らずその地域を愛する心をはぐくむことを目指したい。 ● 検証として「子どもたちの変化、自分で語り掛けることができるか」「横串の成果」を考えている。 ● 令和 8 年度にテスト実施し、9 年度に予算要求、10 年度に継続事業として進められるようにしたい。結果の検証を生かして、具体的な予算化設計をしていきたい。 ● 実行委員会を立ち上げるためには（登記等は必要なく）組織図と約款があればできる。 2. 荒川遊園夜市について、観光振興課長・荒川遊園課長および委員から概要の説明があった。要点は以下の通り ● （提案では）「遊園」と言っているが、夜の活用のパッケージを作り、遊園だけでなく公園や広場等いろいろな場所で事業展開していくことを目的としている。 ● 騒音やごみの問題をクリアする必要がある。そうしなければ苦情が来るのでまずい。 ● あらかわ遊園でのイベントでは、コントロールしやすいコンテンツ（催し物・演出）にすることで可能性があると考えている。あるイベントで近隣にチラシをまいたが、ちゃんとチラシは見てくれているようであり、チラシ記載の終了時刻までは苦情は来なかった。音についてはどれくらいまでなら問題ないのかを、関係性を築きながら検証していく。 ● 夜の活用については東京都や東京観光財団などが補助金等を出している。 その後の意見交換 ○ 委員 ● あらかわ遊園の貸し切りができると、話題性があると思う。 ● 荒川区内の商店街でも、ロケの際に費用をもらっているようである。 3. アラカワリンクスについて、委員より概要の説明があった。要点は以下の通り ● （リンクスのイメージについて）あらかわまちゼミで、SNS グループを作ってコミュニケーションを取る実験をして、それを確認したうえで、どう生かせるかを提案したい。 ● 地域経済活性化の分科会でやっている「スタートアップエコシステム（新興企業を中	

心とした連携)」は、リンクスと内容が近い。情報交換しながら進めていきたい。

- 都内の先行自治体のスタートアップエコシステムを視察した。こちらは Slack で当該自治体内の事業者が入っているが、入って終わりになっている事業者が多かった。スタートアップ（新興企業）と大企業は積極的であるが、中小の、昔からある事業者にとってはハードルが高そうであった。

議題	予算化された 2 事業について
議事内容	
予算化された 2 事業（鉄道謎解き、ノスタルジックアラカワ）について、観光振興課長から概要の説明があった。要点は以下の通り	
● 謎解きイベントについては、補助金申請の関係があり、仕様書等を（分科会の進行にかかわらず、区側で先に）作成して進めている。時期は、（他の回遊イベントの多い）行楽シーズンを外している。賞品については、また荒川区に来る仕掛けづくりになるとよいという意見を（分科会より）いただいたので、そのあたりを視野に入れて進めたい。 ● 手書きおさんぼマップについては、仕様はこれから詰める。10 個の提案事業でいただいたスナックのネタも若干あると思うが、区としては P R しづらいところもあり、夜の視点・飲み歩き・はしご酒などで一つ作ろうかと考えている。	
その後の意見交換	
○ 委員	
● 例えば尾久地域で謎解きがあって、そこで飲食店とかの横のつながりができるとよい。 ● おさんぼマップについて、入札で実施するということであるが、どう質を担保するか。 ● （ノスタルジックアラカワの）もともとの趣旨とずれていないか。世界 10 都市に選ばれたとか、海外の人が来るとかを拒むことはできないので、その波に乗って、もう一度来てもらって、その人たちに宣伝してもらえそうなものして、自分たちの街を誇りあるものにしたい、というのであるが、それが抜けているような感じがしている。おさんぼマップそのものがダメなわけではない。入札でそのあたりのブランド化ができるか（が不安である）。グランドデザイン（全体的な構想）ありきの入札になるのか。 ● 想定する仕様書を見せてもらい、どういう仕様が入っていないとどうなるか、などの議論がない（していきたい）。デザインの感覚を持った専門家を入れる必要があると思う。（手を動かすことは難しいが）相談はできると思う。会議に出るとか。設計監修を入れるのが重要かと思う。 ● 「目的があってマップを作る」やり方で進めるのがいいかと思う。	

議題	年間スケジュールについて
議事内容	
今後の分科会のスケジュールについて、観光振興課長から説明があった。要点は以下の通り ● 分科会は今回含めて年４回程度を想定。令和９年度予算案作成の前（８月くらい）に１回開催し、アラカワプライドラボの状況が確認できる１０月～１１月に１回、予算が形として報告できるようになった１月～２月に１回開催したい。 その後の意見交換 ○委員 ● 実行委員会設立など、ここに出てきていない工程もあると思う。（進め方について）相談させてほしい。 ● １０個の提案事業は、このままの形である必要はないと考えている（例えばトイレや宿泊など）。宿泊については、（お客さんを）入れられる器がないから回遊しない・フックが弱いということになっているのだと思っていて、その中の施策（の一案）だと考えている。	

（以上）